

南山大学図書館報

ΔΥΝΑΜΙΣ

～デュナミス～

No.40 2001.10.1

私的な比較大学図書館論

岡田正則

大学図書館と私

学生時代の4年間、私は図書館にほとんど足を踏み入れなかった。不勉強だったということもあるが、「本は買って読むもの」と信じていたからである。そして何より、書棚の迷路の片隅で埃と黴にまみれて窒息死するのを恐怖していた。

しかし大学院に進んでからは、そう暢気なことも言っていられなくなった。法律学の研究をするには、相当量の雑誌論文、絶版になった本、今昔の外国語文献に目を通さなければならず、図書館に頼らざるをえなくなったのである。それとともに、大学図書館が抱えている問題点も意識するようになった。

“伝統”のありがたさ

私が当時在籍していた早稲田大学の中央図書館と学部・研究所の図書室は、かなりの程度、私の欲求を満たしてくれた。“伝統”なんて単なる宣伝文句だとバカにしていたが、こんな御利益もあったのだと、初めて気がついた。

他方で、膨大な蔵書を管理することの困難さも理解した。蔵書の半分は遠隔地の倉庫に保管されていたため、借用するのに時間がかかったし、また、戦前の外国語文献はカード検索にすら対応していなかったため、所在を確かめるのに苦労した（野球場跡地に新築された現在、図書館は問題を解決しただろうか）。

助かったのは、図書館職員の方々が快く文献探しの助力をしてくれたこと、そして慶應義塾大学図書館との相互貸借制度があったことである。基本的な文献については教員・職員双方の目で整備が図られていたことも、新参の研究者にはありがたかった。

国立大学の図書館

その後、私は金沢大学の教員になったが、図書館職

員が事務的な業務に多大な時間を割いていること、研究・教育の支援という意識があまり感じられないことに、少々カルチャーショックを受けた。私の見聞から推測すると、こうした傾向は国立大学に共通している。この背景には、「事務官」という公務員制度の問題（文部科学省向けの仕事が多い、図書館職員も「事務」の論理の下にあるために専門性が軽視される、等）、大学の予算構造における共通部門の冷遇の問題（予算・人員が少ない、パート職員が多い、等）があると思われる。

一方、比較的スペースにゆとりがあり、学部の図書室がかなり充実している国立大学も多い。集密書架が用いられる場合でも、雑誌に限られていると思われる。

ここでドイツの例を加えておくと、私の知る限りでは、講座（研究所）ないし学部単位で充実した図書室を備えているところが多い。多くの学生は、関連の本を机の上に山積みして、終日、レポートの作成や講義の準備に励んでいる。使用頻度の高い本は必ず複数冊揃えられている。欠点を挙げるとすれば、摩耗の激しい本がある、他分野の本を参照しづらい（別の建物に行かねばならない）などの点であろう。

南山大学図書館のこれから

南山大学図書館も大なり小なり上記のような長所と短所を有している。今後、大学における大学院の比重が大きくなることを考慮すると、部局の図書室を充実して大学院での研究に対応できる体制を整えること（その際には、集密書架での本の管理をやめるべきである）、人的なサービスの要素を重視すること（IT時代の図書館ではこの点が重要になると思われる）を、ぜひ検討していただきたい。

(Masanori OKADA：法学部)

南山大学図書館 秋の企画展

明るい未来学

～夢が現実になる日～

瀬戸図書館

期間 2001年10月22日(月)～10月28日(日)

時間 9時15分～閉館時間まで

会場 瀬戸図書館 ブラウジングコーナー 横

※10/27(土)、28(日)は図書館は休館となりますが、企画展のみ入場できます。(10:00～16:00)

名古屋図書館

期間 2001年10月30日(火)～11月10日(土)

時間 8時45分～閉館時間まで

会場 名古屋図書館 1階ブラウジングコーナー

※11/3(土)、4(日)は図書館は休館となりますが、企画展のみ入場できます。(9:00～16:30)

新しい世紀を迎えた2001年。

図書館の知的財産を駆使して過去・現在・未来を見据える！

「情報」「技術」「地球科学」「生命」をテーマに過去から現在、現在から未来への動向を探る！

～2001年秋、図書館でタイムスリップしてみませんか～

Essay

「良書」との出会い

林 尚志

小学5-6年生あたりだったと思います。担任の先生から「文庫本」というものの存在を初めてうかがって以来、「次郎物語」や「しろばんば」などの小説を、ぎっしりと文字が詰まった文庫本で読むことにちょっぴりませた気分を味わっていたころがありました。当時、近所の本屋さんが文庫本につけてくれる紙カバーに赤い小さな文字で格言・箴言のたぐいが載っていたのですが、その中で、『いかに良き書といえども、その価値の半分は読者が創るものである』という言葉が妙に印象に残りました。

だれの言葉であったのかを覚えていないくらいですから、ちょっと心に残ったという程度だったのだと思います。それから年月を経て大学に勤めるようになり、日々新たな書物や文献と出会うようになった今日、なぜか再びこの言葉が心に浮かびました。

良書との出会いに限らず、人生、「あの出会いがあったから」と思えるような貴重な「出会いの瞬間」が、必ず何回かはあるものだと思います。「あの時、たまたまあの友人、恩師と出会えたからこそ」、「あの時、結構きつかったあの挫折にぶつかったからこそ」…等々。自分もふり返ってみると、そんな『中身の濃い出会いの瞬間』が、これまでいくつかあったような気がします。

そして、このような“出会いの瞬間”に偉大なありがたさを感じつつ、同時に当然のことながら思うのは、「それら瞬間の前後の“自分のありよう”もそれに劣らず重要ではなかったかということです。つまり、外から偶然にも飛び込んできてくれた一瞬を「ひょっとすると、これはありがたい出会いである(あった)かもしれない」と意識できる自分、そして、その後で「この出会いをしっかりと受け止め、大切に育てていこう」とするねばり強さを備えた自分があってこそ、“その瞬間”がやがて時を経て豊かな恵みをもたらしてくれるものだと思うからです。

そして、大学の一員となった今日。さまざまな書物・文献などとの出会いから、“貴重な瞬間”をしっかりと意識できる自分、そしてそれが“本物の出会い”にまで育つよう努めていける自分をめざし、日々自らを伸ばしていきたい…(やや強

引にもっていかうとしていますが?)冒頭で述べた言葉から、このような目標をイメージしているこの頃です。

改めて述べるまでもなく、インターネットなどの発達により世界中の膨大な文献・資料に関する情報が瞬時に地球を駆けめぐる時代になりましたが、そんな中、新たな価値の創造へとつながる“本物の出会い”を実現するためには、これまで以上に「出会いを受け止め、育てていける“力量”」が問われるようになってきたと感じます。その時々課題に応じ、どのような手段を用いて中身の濃い情報をしぼり込み、かつ、適度な柔軟性を残しながら新たな価値の創造へとつなげることができるのか…

もちろん、そのような“力量”を伸ばすためには、まず本人の姿勢が第一に問われることは当然ですが、情報量の飛躍的な増大とともにその入手のあり方自身が日々変化している今日、このような“力量”を自然と伸ばすことができる環境に身を置くことができることは、きわめて貴重なことであると感じます。

この点に思い到り、改めて、本学の図書館を利用できることのありがたさを実感します。図書館に入り、ちょっと気をつけていると、「せっかくの図書館を有効に活用し、“本物の出会い”が生まれるよう、しっかりサポートしますよ」という暖かい雰囲気が伝わってくるからです。たとえば、ゼミ生を対象とした“図書館講習会”では、担当の方の入念な下準備や打ち合わせから「限られた90分間を、学生にとっていかに中身の濃いものにするか」という熱い気迫が感じられ、そんな舞台裏をのぞかせて頂いたあとで学生とともに講習会に出席すると、自分にとっても“新たな発見”が感じられる貴重な時間を過ごさせて頂くこともありました。

日々の教育・研究活動から“本物の出会い”が次々と生まれ、南山大学が“新たな価値の生まれる空間”となっていく…図書館の皆さんが暖かくサポートされているそんな雰囲気を感謝しつつ、教育・研究に励んでいきたいと思っています。

(Takashi HAYASHI：経済学部)

秋期図書館利用講習会のお知らせ

春に引き続き、図書館を使いこなすための利用講習会を開催します。
個人でも、ゼミ・授業単位でも申込できます。

講習の内容

初 級

図書館の使い方や資料の探し方の基本など、図書館の資料を上手に使う方法を中心に説明します。また図書館内を実際に案内します。

中 級

卒業論文やレポートの作成などに役立つ文献・資料の探し方を中心に説明します。特に図書館 Web ページから効果的・効率的に資料を探す方法を紹介します。

開催日程：10月1日（月）～11月30日（金）の平日のうち、ご希望の日。

詳細は申込時にご相談。

所要時間：60分（個人）、90分（ゼミ・授業）

申込場所：受講したいキャンパスの図書館レファレンス・カウンター

詳細については申込時に図書館レファレンス・カウンターにてお尋ねください。

資料紹介

文淵閣四庫全書 CD-ROM 版

請求番号 [CM/082/1/v,0-1～11] マイクロ室

清朝の乾隆帝が入手可能な書籍を収集し、その内、主要な3,457部を一定の書式に従って筆写させた中国最大の叢書。1741年から買い上げと借用による収書が始められたが清朝にとって都合の悪い記事は削除されたり、禁書となった書籍も多数あり思想統制と知識人対策が編纂の目的の一つであったともいわれている。

経（経学）・史（歴史）・子（諸子）・集（詩文集）の四部に分かれているため「四庫」の名が付された。1781年に最初の「四庫全書」一揃いができ、全部で7組作られたが、本資料は北京紫禁城内の文淵閣に納められていたもの（現在は台湾故宮博物院所蔵）の CD-ROM 版で、36,000余冊、約8億字を有している。

旧中国の書物の収集と分類の頂点ともいえる「四庫全書」は、中国歴史の集大成でもあり、且つ漢籍分類の拠り所にもなっている。また CD-ROM 版のため全文検索が可能で、利用しやすい。

中国語教本類集成 復刻版 六角恒廣編・解題

請求番号 [820/407/v,1-1～v,5-4] 書庫地下2階

明治初年以降、日本における中国語教育において使用された、教科書、辞典、文法書等の教本類を収集し復刻したもの。日本の中国語教育関係資料の集大成であり、中国語教育史研究だけでなく中国語学の文法、教授法等の分野にとっても利用価値の高い資料である。捕集として江戸時代の唐話の教本を収録。

The Dickensian Reprint ed.

請求番号 [Z/930/D72] 書庫地下1階

1905年から刊行されているディケンズに関する文芸雑誌の復刻版。ディケンズ関連雑誌としては最も歴史のある資料。ディケンズの一生に関する新しい事実を集め、一流の研究者が寄稿している。論文・書評のみならず挿絵・写真等も数多く掲載されているのも特徴のひとつである。ディケンズは文学面だけでなく当時の社会や政治にも大きな影響を与えた作家なので英文学研究のみならず、当時の社会・風俗史研究にとっても利用価値のある資料である。

明治の読売新聞・大正の読売新聞 CD-ROM 版

請求番号 [発注中]

〈明治の読売新聞〉

明治期の読売新聞のCD-ROM版で、従来の縮刷版やマイクロフィルム版と異なりキーワード、分野別の分類コード、日付等から必要な記事が記載された紙面を簡易に検索することができ、当時の紙面のまま画像で読むことが可能。明治期独特の用語、人名を検索する手助けとなる独自の「辞書」も付帯。近代研究の基本的資料。

〈大正の読売新聞〉

大正期の読売新聞のCD-ROM版。

記事だけではなく、広告も収録されている。

南山大学図書館に所蔵されている本や雑誌、
CD-ROMなどのうち“知ってよかった！”
そんな資料を取り上げて紹介するコーナーです。

最近よく耳にはするけれど… 電子ジャーナルっていったい何？

電子ジャーナルの定義

「デジタル形式で記録され、コンピュータネットワークを介して電子的に
配信される学術雑誌」

言い換えれば

「従来紙の媒体で刊行されている雑誌を、インターネットを通じて、電子
的な手段で提供するもの」

電子ジャーナルのメリットは？

利便性	自宅のパソコンで論文のダウンロードやプリントアウトができます。
速報性	発表論文をオンライン上でいち早く読むことができます。
多様な検索機能	膨大なデータの中から求める情報を容易に探し出せます。
リンク機能	本文から参考文献など関連情報をたどることができます。
マルチメディア情報	表・図・映像・音声による情報も入手できます。
複数利用	1冊の雑誌を取り合うこともありません。
配架場所の節約	図書館の悩みの種であるスペース問題も解消。

電子ジャーナルの現状は？

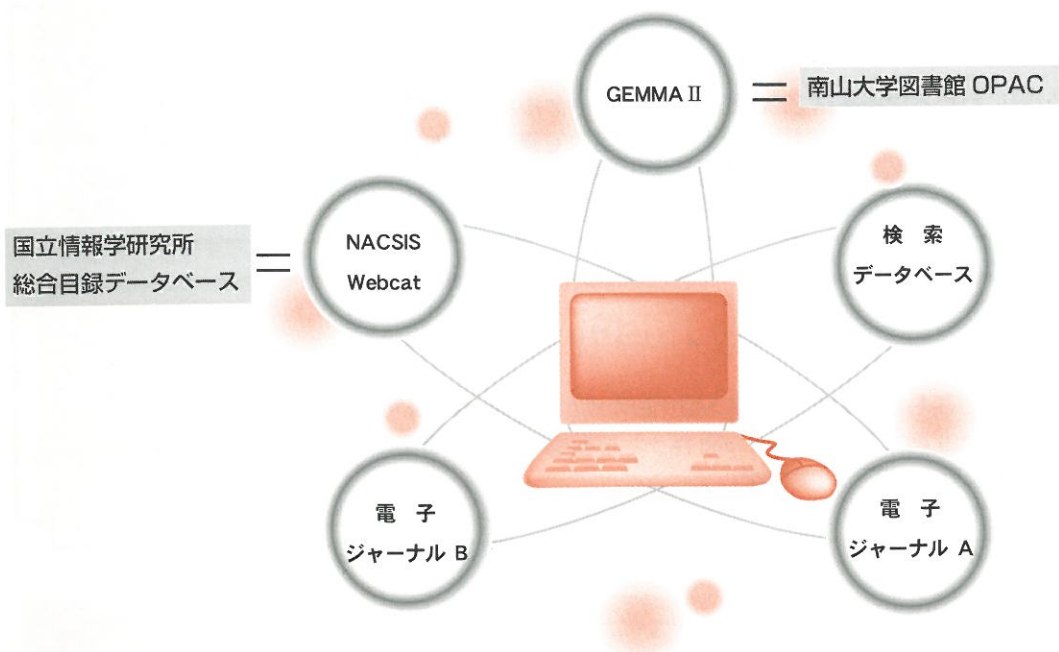
問題点も残されています。

- ❖ 過去のデータはいつまで保証されるの？ 学術論文の質は大丈夫？ 著作権や安全性は？…
- ❖ 現在は各出版社から様々な形で提供されているため、ページ構成・認証方法・検索システム等がばらばらです。
- ❖ リンクをいくつもたどって、やっと行き着いた先が有料だったり、パスワードを要求されたり、抄録までしか入手できない場合もあります。

未来の電子ジャーナルは？

様々な出版社の電子ジャーナルをシームレスな形で包括的に提供する
“One-stop Shopping” のサービスも登場し始めました。

おなじみの検索エンジンのように自由に横断検索できれば…



個々の電子ジャーナル自体はほぼ完成されたとも言えますが、学術情報の流通という大きな流れの中で現在の電子ジャーナルを捉えてみると、多くの課題が残されています。

それを解決し、電子ジャーナルを本格的に普及させるには出版社・図書館・利用者の相互協力が欠かせません。

まだ試行錯誤の段階ではありますが、電子ジャーナルの良さを是非実感してみてください。

新時代の図書館は、もうすぐそこまでやっています！！

私たち図書館員も新時代の水先案内人〈情報検索ナビゲータ〉となるため、日々努力しています。利用者の皆さんも、行き着いた情報が本当に欲しいものか、正しいものかを見極める判断力や、新時代のシステムに乗り遅れないための適応力を、今のうちから身に付けておきましょう。

参考文献

- 石井 知好 “外国雑誌の価格と最善の購入方法を考える—電子ジャーナルとコンソーシアムの可能性” 南山大学図書館紀要. 第7号, pp. 35-45(2001)
- 中谷 俊介 “電子ジャーナルが超えるべき6つのハードル” 大学図書館研究. vol. 55, pp. 24-27(1999)
- ヘーゼル・ウッドワード 他著 尾城孝一他訳 “電子ジャーナル：神話と事実” 情報の科学と技術. 48巻 5号, pp. 303-311(1998)

電子ジャーナルの世界を体験しよう！

現在皆さんが無料で利用できる電子ジャーナルを紹介します。(2001. 10. 1 現在)

南山大学図書館ホームページ 検索／リンク集 データベース一覧より

ProQuest Academic Research Library (ARL)

多分野にわたる学術雑誌 2,300誌の電子ジャーナルパッケージ。記事の索引や抄録の検索ができ、うち 1,500誌は、全文も収録。当館で購読している雑誌の約 290誌が入手可能。検索データベース WebSPIRS とのリンク機能あり。

MathSciNet

数学分野で最も権威のある雑誌 Mathematical Reviews (1940 年～) と Current Mathematical Publications (1969 年～) に収録されている文献や書誌情報の、創刊から最新版まですべてを入手可能。

南山大学図書館ホームページ What's Newより

(2002. 3. 31 までのトライアル)

Oxford University Press 刊行 電子ジャーナル

自然科学分野のほか、経済学、法学など人文科学分野の雑誌を含む Oxford University Press (OUP) 刊行の電子ジャーナルパッケージ。約 170 誌のタイトル検索ができ、論文の抄録と全文を収録。国立情報学研究所が電子図書館サービスの一環として試験提供を行っている。

EBSCOhost (外国雑誌電子ジャーナル)

幅広い分野の学術雑誌 3,000 誌以上の全文と、さらに多数の抄録を収録した EBSCO Information Services 社が提供する電子ジャーナルパッケージ。特に経済・経営関連が充実しており、EBSCO のみ収録の重要タイトルもあり。

電子ジャーナルについてのご意見やご感想をこちらのアドレスまで是非 E-mail でお寄せ下さい。 library-n@nanzan-u.ac.jp

詳しくは 2001 年度 南山大学図書館 秋の企画展にて！！

未来の図書館の姿として電子ジャーナルをとりあげます。乞うご期待！！

(Kaori ITO: 閲覧・参考係 伊藤かおり)

静かな図書館を 取り戻すには

図書館の意見箱「あなたの声」に“静かな図書館を取り戻してほしい”という要望が続々と寄せられました。一方で館内での携帯電話による通話やおしゃべりは一向におさまる気配がありません。

1

「あなたの声」に寄せられたいくつかのご意見

周囲を意に介さないケイタイ、話し声、我慢できません。静かな環境で勉強したい真面目な学生ほど図書館以外の場所で勉強しなければならないという異常な状態です。図書館の豊富な蔵書に囲まれて静かに勉強したいと願っている学生は僕だけじゃないはず。図書館で静かに勉強させてください。

新学期になり、図書館を利用する人が増えたことは大変よいことです。しかしマナーを守らない学生が多い。雑誌を机に置いたままにする人、大きな声でおしゃべりする人、ケイタイで話す人、落ち着いて自習ができない。マナーを守れない人は図書館を出て行ってほしい。図書館職員の方はそういった人を注意していただけないのですか？ 時々見回りしてほしいと思う今日この頃です。

相変わらず私語をする生徒が目立ち、非常に迷惑しています。何らかの対策を考えてください。

いつも図書館を利用させていただいております。今回の意見は、図書館内におけるマナーの問題についてです。図書館では飲食・喫煙を禁止し、携帯電話の使用を自粛するよう呼びかけていますが、今年の4月以降からでしょうか、こうしたマナーを守っていない人たちをよく見かけるようになりました。また、こうしたマナー違反の質も以前に比べるとさらに悪くなっているように思えます。一例を挙げると、館内での携帯電話の着信音をマナーモード等にせず、鳴りっぱなしのまま放置されていたり、大声で会話をしていたりするケース。飲食物の場合では、ジュースを持ち込んで館内で飲んだり、ひどいケースになると近くのコンビニの袋やマクドナルドの紙袋を手にしたままカウンターの前を通過して、館内で飲食している

ようです。以前からこうした光景は見られていましたが、最近は特に度が過ぎているように思えます。個々人のモラルに訴えて、そうした行為をしないよう呼びかけてきたようですが、そろそろ次の一手を打つべき時期に来ているのではないのでしょうか？ それとも現状の注意方法で限界なのでしょう？

2

これまで図書館がしてきたこと

2-1 対応してきたこと

1. 足音・靴音による騒音を防ぐためにカーペットを全フロア（階段を含む）に敷設する。
2. 一部の大机を中央に衝立のあるタイプに変更する。
3. 試験期等、利用者が多い時期は、日に4度、図書館員が全館を見回り、騒がしい利用者に注意をする。
4. グラウンド等の外部の雰囲気遮断するために、ブラインドを常時おろす。
5. 掲示等で利用者に注意を促す。

2-2 対応策として挙げられたけれども対応できなかったこと

1. 古い建物のためもともと静粛を保つことのできる構造にはなっていないので、新しい建物に建て替える。
→大学全体の施設計画から当面は無理である。
2. 大机での私語が多く見受けられるため、すべて個人机に変える。
→閲覧席数が減り利用者数に対応できない。
3. 静粛の状況を保つため、常時見張りの人を配置する。
→見張りの人を常時配置することは、学術的な施設としてふさわしくないのではないか。利用者自身のモラルによって解決できるのではないか。
4. 携帯電話電波遮断機を設置し、携帯電話を受発信できないような措置をとる。
→電波法で認められた装置の設置場所に図書館は含まれておらず、法的に実施が不可能である。

3

館内常時見回り実験の実施

「あなたの声」に寄せられたご意見を踏まえて、図書館員が5月29日から31日の4日間に亘って館内を常時見回りました。というのも対策可能な「次の一手」として我々に考えられることは館内を常時見回ることだけでした。これまでも日に数回見回ることにはありましたが、職員の姿が見えなくなると、元の状態に戻ってしまうということの繰り返しでした。見回りによって効果があるのか、またこのことを利用者の皆さんがどう考えるのかということを知るために、後半3日間はアンケートに答えていただきました（アンケートの結果は12ページ）。

4

まずは…

図書館員が常時見回ることによって館内をほぼ静かな状態に保つことができました。アンケートの集計結果では、見回りについては「静かになるからよいと思う」178名、「監視されているようで迷惑だ」138名、「なんとも思わない」169名、「その他」48名と賛否両論に分かれました。ただし館内が非常に騒がしくなる定期試験期間中はぜひ実施してほしいという声が幾つか寄せられました。試験期に図書館全館を静粛な状態に保つことはこれまでの経緯から難しいと考え、7月6日から27日までの定期試験前一週間と試験期間中は地下1階閲覧室を『特に静粛を維持するスペース』と位置付け、静粛を維持するための係員1名が常駐する（できる限り見回らず一定の場所に常駐し、静粛が維持できない場合だけ注意をする）こと、静粛を維持しやすいように個人机を集中的に配置することにしました。また3階グループ閲覧室①②（約100名程度収容可能）を友達と相談しながら学習できる場として予約不要で開放すること、また図書館外の自習室も定期試験3日前より確保することを併せて実施しました。

5

そして、図書館の気持ち

係員1名が常駐したことによって定期試験期間中も例年にくらべれば静かでした。しかし残念なこともありました。係員がいない土曜日のグループ閲覧室に飲食物のゴミやたばこの吸殻が捨てられていたり、ジュースがこぼされ濡れた本が放置されていました。

今回の試みから図書館では係員の常駐が館内の静粛を維持することに一定の効果があると判断し、定期試験前・試験期間中にはこの方法を継続する予定です。このことについては「監視されているようだ」という反対の意見が多数あることを私たちも充分承知しています。またアンケートの回答の中には「館内の見回りに人員を使うよりももっと有益な図書館経費の使い方があるのではないか。迷惑行為をする人に対するよりも、図書館の対応に驚き残念に思う。誰のための場所なのか、もう一度考え直していただきたい」という図書館にとっては厳しい意見もありました。しかし「静かな図書館で勉強したい」という声が続く限り、私たちはその声を無視することはできません。

私たち図書館員にとって、利用者の皆さんが快適に図書館を利用できるように環境や施設を整備することは大切な仕事のひとつです。そして快適と感じる状態は人それぞれ違います。しかし、利用者はあなたひとりだけではありません。アンケートの結果では「他の利用者の迷惑になるようなことをしたことがありますか？」という質問にYESと答えた人数368名に対して「他の利用者から迷惑をうけたことがありますか？」という質問にYESと答えた人は983名でした。つまり自分の行為が他の利用者の迷惑になっていると感じていない人がたくさんいるということです。

利用するひとりひとりの方が「誰のための図書館」か、「多くの人にとって快適な図書館とは何か」ということを少しでも意識することができたら、静かな図書館を取り戻すことは簡単なことだとは思いませんか？

図書館見回りについての アンケート結果

(集計総数：478) 2001年5月29.30.31日実施

A. 見回りの職員を見かけましたか (YES) 293 (NO) 183

B. 職員の見回りをどう思いますか

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 静かになるからよいと思う |178 |
| 2. 監視されているようで迷惑だ |138 |
| 3. なんとも思わない |169 |
| 4. その他 | 48 |

C. 他の利用者の迷惑になるようなことをしたことがありますか？

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 館内に携帯電話をそのまま持ち込んでいる
(マナーモードに切り替えない) | (YES) 41 (NO) 437 |
| 2. 館内で携帯電話で話をしたことがある | (YES) 132 (NO) 342 |
| 3. 館内で飲食をしたことがある | (YES) 106 (NO) 370 |
| 4. 館内で友達と大きな声で話をしたことがある | (YES) 89 (NO) 383 |

D. 他の利用者から迷惑をうけたことがありますか？

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 携帯電話の呼び出し音で迷惑をうけたことがある | (YES) 240 (NO) 234 |
| 2. 携帯電話の話し声で迷惑をうけたことがある | (YES) 253 (NO) 221 |
| 3. 飲食をみかけたことがある | (YES) 153 (NO) 319 |
| 4. 友達同士の話し声で迷惑をうけたことがある | (YES) 319 (NO) 155 |
| 5. その他 | 18 |

E. (Dの質問に“YES”と答えた方のみ)

迷惑を受けた場所を記入してください。複数回答可。

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 3階グループ閲覧室 | 21 |
| 2. 2階閲覧室 |182 |
| 3. 1階閲覧室 |196 |
| 4. 地下1階閲覧室 |149 |
| 5. 地下1階書庫 | 8 |
| 6. 地下2階書庫 | 4 |
| 7. 階段 | 19 |
| 8. トイレ | 21 |

F. 図書館は静粛化・利用者のモラル低下に関してなんらかの対策をとるべきだと思いますか。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 積極的におこなうべきだ | 80 |
| 2. おこなったほうがよい |213 |
| 3. 個人の問題なのでおこなう必要はない | 14 |
| 4. 現在は気になるレベルではない |139 |
| 5. 関心がない、どちらでもよい | 7 |
| 6. その他 | 15 |

G. 館内静粛化について、具体的によい対策があればご記入ください。 省略

(Fumi KATO:閲覧・参考係 加藤 富美)

南山大学 瀬戸図書館

ENJOY JOIS

導入しました！！

フリートライアル実施中！！

南山大学図書館ホームページ、「What's New」からアクセスして下さい。

URL : <http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

〈トライアル実施期間〉2001年10月～11月末日まで

ENJOY JOIS とは

■ 内 容 ■

数種類のデータベースで構成されており、科学技術分野全般を対象とした論文・解説記事の文献情報を検索できます。国内の文献だけでなく、外国の文献も日本語で検索する事ができ、論文ごとに抄録が付いていますので概要を手軽に知る事が出来ます。

■ 収録文献の種類 ■

- ・ 逐次刊行物(雑誌) : 学会誌・協会誌・業界誌・商業出版雑誌・学術団体の紀要・研究所報告など
- ・ 会 議 資 料 : 会議録・予稿集・講演要旨集など
- ・ レ ポ ー ト : テクニカルレポート・調査報告書など
- ・ 公 共 資 料 : 日本国内の、政府・政府関係機関・地方自治体・公益法人などが作成する科学技術およびその関連分野に関する不定期刊行物で、研究報告・調査報告・審議会報告・行政報告など

■ 主なデータベースの種類 ■

JICST ファイル (JICST 科学技術文献ファイル)

科学技術全分野に関する文献情報。主要60余か国の逐次刊行物(雑誌)約12,000種類、技術レポート、会議資料などに掲載された科学的・技術的に優れた文献を年間約70万件収録しています。

収録範囲 : 1975年4月～現在 収録件数 : 1371万件

JICST ファイルは、雑誌の「科学技術文献速報」に対応しており、南山大学図書館では、1967年～現在までを冊子体と CD-ROM で購入しています。

名古屋図書館 冊子体 請求番号 : Z/330/Ka17

CD-ROM 請求番号 : CM/330/2

瀬戸図書館 CD-ROM 請求番号 : AR/330L

JQUICK ファイル (JICST 速報ファイル)

科学技術振興事業団 (JST) が速報性・網羅性を重視して作成、提供する文献ファイルです。JST が収集している逐次刊行物等の中から、約 10,000 誌を対象として、主に書誌的な事項をデータベース化しており、学協会の予稿集が収録されているのが特徴の一つです。

つまり JICST ファイルに掲載される前にいち早く論文情報を検索する事が出来るので、速報性のみをとっても重要度の高いデータベースになります。

収録範囲：1990 年 1 月～現在 収録件数：336 万件

ENJOY JOIS で検索する

通常は、瀬戸図書館レファレンス・カウンターにて申込制（代行検索：有料）で利用できますが、今回は無料トライアル期間なので自分で検索してみましょう。

図書館ホームページの「What's New」にアクセスして下さい。

URL : <http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

- データベース選択の仕方はホームページに説明文を掲載します。●●●●
- 以下は JICST ファイルを例にして説明しています。●●●●

● 検索語を入力する

▼をクリックし、検索項目を一覧より選びます。
例) キーワード、著者名、雑誌名、機関名など。

検索語を入力後、OKをクリックします。

グループ内はOR検索、異なるグループ間にはAND検索を実行します。また、画面上の**検索補助**をクリックすると、入力した言葉で始まる検索語を50音順、アルファベット順に列挙し、どんな検索語があるのかを調べることができます。

著者名で検索する場合は入力に注意して下さい。漢字表記の場合は、姓と名前を続けて入力し、本文が英語で書かれた文献の著者名は、英字表記の姓と、名前のイニシャルを入力して下さい。

例) 松本修三 (まつもと しゅうぞう) → MATSUMOTO S

● 検索結果から、絞り込み検索をする

ヘルプ 検索画面 BREAK DB選択 絞り込み

検索結果 4,854件

件数が表示されていない集合の場合、図をクリックすると件数を表示します。
件数が表示されている集合の場合件数をクリックすると、絞り込み画面に移ります。

絞り込み検索 4,854件絞り込み後13件

データベース名: JOIS

13件について
・タイトルを表示したいときはタイトル表示をクリックして下さい。
・詳細情報を表示したいときは、表示する件数を選択して詳細情報の表示をクリックして下さい。
1件目から15件 詳細情報の表示

4,854件の件数を絞り込みたいときは、下記の表で選択して絞り込みをクリックして下さい。

言語	☐ 日本語 ☐ 英語 ☐ ドイツ語 ☐ フランス語 ☐ ロシア語
発行国	☒ 日本 ☐ アメリカ合衆国 ☐ イギリス ☐ ドイツ ☐ オランダ ☐ フランス
発行年	2001 ~ 2001

絞り込み クリア

検索した結果が表示され、数字の部分をクリックすると該当する検索集合の絞り込み画面に移ります。

絞り込みをする項目をチェックして、**絞り込み**をクリックします。発行年、発行国、言語の指定が可能です。

● 詳細情報を見る

絞り込み後の件数が表示されます。

タイトル表示 をクリックすると、論文のタイトルのみが表示され、**詳細情報の表示** をクリックすると、論文のタイトル、掲載雑誌名、巻号、ページの他に、その論文の内容が分かる収録も読む事ができます。

1 JST COPYRIGHT
CN 01A0414313
TI JavaとXMLを結びつけるプラグインAPI JAXP入門
AU 倉光君郎
JN L2002A Open Des
VN NO. 47 PAGE. 138-145 2001
CI (A) (b2) (JA) (JPN) (写真7. 参2)
AB JAXP 1.1 (Java API for XML Processing) は、Sun Microsystems社が標準化を進めているXML処理用のAPIである。その目的は、SAX2やDOM2、XSLTなどの各種プロセッサとJavaアプリケーションを結びつけやすくすることである。本稿では、JavaとXMLがどのように結びつくのかについて解説した。まず、XMLに対する代表的なアクセス手段としてXML/API、XMLデータバインディング、問合せ言語(クエリ言語)を紹介した。その上で、XML.apache.orgが開発しているXercesとXalanを用いて、JAXPをベースにした以下のプログラミング例を紹介した。1) SAXパーサを作成しSAX APIによってXML文書を読み込むプログラム、2) DOMプロセッサを作成しXML文書をDOMツリーに変換して、それを解析してXML文書として出力するプログラム、3) JAXPとXSLTを用いて、XML文書をHTMLに変換して出力するプログラム。
CC J003052Y, J02010R (681.3.06.004.14:800.92, 681.3.02.001)
KW 応用向き言語; 計算機プログラミング; 言語処理系; 構文分析; 文書処理; WWW
【通信】
FT [XML【言語】; API【インタフェース】; Java; パーサ]

図書館を有効に使う

ENJOY JOIS で検索できるのは抄録までの情報なので、論文そのものを利用する場合は、掲載雑誌名、資料名などからオンライン所蔵目録「GEMMA- II」で南山大学図書館の所蔵の有無を調べて下さい。図書館で所蔵していない雑誌や資料でも、学外から文献複写物として取寄せる事が出来ます。申込みはレファレンス・カウンターで受付していますので、お気軽にお尋ね下さい。

図書館はいつでも、利用者の皆さんに役立つようなデータベースや資料の収集に心がけています。今回で紹介しましたデータベースも代行検索ではなく、自由に検索できるような提供の仕方を検討中です。皆さんのデータベースに関するご意見をお待ちしていますので、以下のメールアドレスまでご意見を頂ければ幸いです。

E-mail library-n@nanzan-u.ac.jp 参考文献:「JOIS ガイド」

(Mayu KONDO: 瀬戸図書館 近藤 真由)

去る6月25日、講演会を開催しました。

報告

図書館講演会

電子化ジャーナルと電子出版

～エルゼビア・サイエンスにおける10年の航跡と近未来～

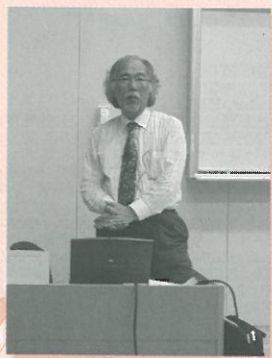
講師：エルゼビア・サイエンス株式会社 代表取締役 深田良治氏

日時：2001年6月25日（月）16時30分～17時50分

会場：名古屋キャンパス D棟 DB1 教室

昨今、CD-ROM やインターネットを通じて利用する電子ジャーナルなど電子資料が図書館資料として増加してきています。図書館界においても IT 技術の活用がより一層重要になってきているのも事実です。そこで、今回は、エルゼビア・サイエンス社の代表取締役・深田良治さんをお招きし、電子出版の過去・現在・未来についてご講演を頂きました。

参加者は約 180 名。講演後の懇親会にも大勢の方にご出席いただき盛況でした。お忙しい中、参加して下さいった皆さん、ありがとうございました。



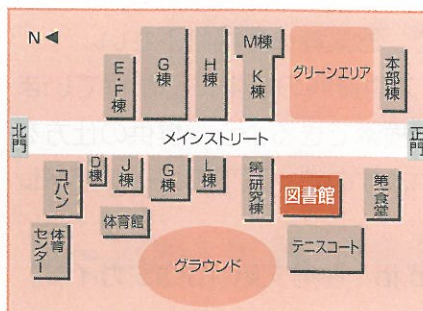
エルゼビア・サイエンス株式会社
代表取締役 深田良治氏



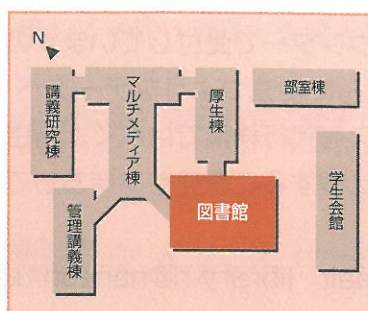
講演会の詳細、全文は南山大学図書館ホームページ、
<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/> をご覧下さい。

《編集後記》

秋の空 本を枕にひと休み …中もちゃんと読んでね。(日)



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.40

2001. 10. 1 発行

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

発行：南山大学図書館 広報委員会

編集委員：共田、大橋(美)、日高

印刷：一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Tel: 052(832)3707/Fax (G3):052(833)6986